

# しちかしく 議会だより

第245号

令和5年2月1日(2023年)



## 宇検村スキー体験交流(12月)

- ・議会報告会並びに懇談会報告
- ・第4回(12月)定例会
- ・第5回(10月)第6回(11月)臨時会
- ・所管事務調査報告(総務文教常任委員会)
- ・一般質問(高橋茂美・吉田修・五十嵐敏夫・高橋きく子・高橋浩之)

10月・11月臨時会

12月定例会

# 令和4年度 第2回 議会報告会並びに懇談会

令和4年12月16日（金）湯原地区と17日（土）関地区を会場に「議会報告会並びに懇談会」を開催し、令和3年度の決算内容と主な事業を報告し、参加者との意見交換を行いました。その一部をお知らせします。

## 【生活支援】

**問** 豪雪対策本部設置に関わらず除雪作業支援や屋根の塗装替え補助制度など、高齢者も安全で安心して生活できる総合的な支援体制を考えて欲しい。

**答** 降雪は地域により大きく異なるので、議会からも行政の適切な雪害対策や条例の制定など求めて行く必要があると考えています。

**問** 薪ストーブ購入への支援を要望したが町の対応はどうなっているのか。

薪やチップなどの燃料確保や搬送などの事業も展開して欲しい。

**答** 現在、伐採時の未利用材を活用した木質チップの生産に取り組んでいます。薪ストーブ構想も生活支援と町おこしの観点から担当課に確認します。

## 【保育・教育】

**問** 関保育所の新築計画はどこまで進んでいるのか。  
児童クラブ施設との複合的な施設を視察した議会からしっかりと提言して欲しい。

**答** 総務文教常任委員会では本設計の内容を聴取しましたが、町から議会への説明はありませんので、年度内に総務文教と産業建設常任委員会合同で聴き取りします。

**問** 小中一貫校の構想と七ヶ宿中学校立替え計画は、現在のようになっているのか。

**答** 小中一貫校から小中一貫教育構想へ変わっています。校舎立替え計画は具体的に示されていませんが、校舎の安全性について調査する必要がありますと認識しています。

## 【住民福祉】

**問** 通院に利用しているデマンドバスは、個人個人の診療や薬局の時間帯が合わず利用者がいないので運行時間を見直して欲しい。

**答** 総合病院などへの通院支援は早急に対応しなければならぬ大きな問題です。利用者側に沿った具体的な行政対応を求めていきます。

## 【病院組合】

**問** 議会はどのような判断で白石市外二町組合の解散を決定したのか。

**答** 公設民営化構想が刈田綜合病院の機能を低下させるなかで、病院機能の空白は多くの人々にとって更なる重大な問題になると判断しました。



▲湯原地区での報告会の様子



▲関地区での報告会の様子

## 令和4年度第2回議会報告会並びに懇談会アンケート調査報告

【アンケート回収率は100%でした。】

参加者数 12名 関地区 7名（うち 男性6名・女性1名）  
湯原地区 5名（うち 男性5名・女性0名）

～報告会については省略し、町議会活動についてのアンケート結果のみ掲載しています～

### 行政のチェック機能

評価できる：10件 評価できない：2件 その他：0件

### 行政提言

評価できる：10件 評価できない：2件 その他：0件

### 町民との対話

評価できる：9件 評価できない：3件 その他：0件

### 議会の情報公開

評価できる：9件 評価できない：3件 その他：0件

### 議会だよりの内容について

読みやすい：12件 読みにくい：0件 その他：0件

### 取り組んでほしい課題（複数回答可）

医療の充実：6件 農林業の振興：6件 生活支援：5件 雇用対策：2件  
子育て環境：2件 商工業の振興：2件 教育の充実：1件 移住定住：1件  
その他（社会福祉）1件

### その他議会報告会や議会全般についてお気づきの点について

○もっと積極的に行政提言をしてほしい ○資料はもっと配布してほしい  
○報告会参加者を増やせるよう工夫を ○活動報告書は報告会で配布してほしい

多くの方にご参加いただき誠にありがとうございました。

### 第4回定例会

(会期：12月7日～9日)

白石市外二町組合負担金を追加する令和4年度一般会計補正予算など8議案を原案通り可決。

監査委員の選任、副町長を再任する人事案件2件に同意。議員発議の意見書1件、特別委員会の設置を議決し閉会。

#### 主な案件

- ・人事案件
- ・条例の改正
- ・規約の変更
- ・令和4年度  
一般会計補正予算
- ・令和4年度  
特別会計補正予算
- ・意見書の採択
- ・特別委員会の設置

## 人事案件

#### 監査委員の選任

##### 【提案の理由】

識見の有する者のうちから選任する委員が任期満了のため。



神尾 重行氏  
(峠田地区)

#### 副町長の選任

##### 【提案の理由】

任期満了に伴い副町長を選任するもの。



斎藤 一重氏  
(矢立地区)

#### 監査委員の選任

町は地方自治法において監査委員を置くと定められており町長が選任します。監査委員は町の予算の執行や行政の事務が適正に行われているかを監査します。

#### 「租税特別措置法」とは

当分の間、税金を軽減し、若しくは免除し、若しくは還付し、又はこれらの税に係る納税義務、税額の計算等の特例を設けることについて規定した法律。

◆七ヶ宿町過疎地域の持続的発展の支援に係る固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正

##### 【内容】

租税特別措置法等の一部改正によるもの。

◆七ヶ宿町住みたい住宅応援条例の一部改正  
【内容】  
空き家の環境整備をさらに促進するため、従来まで対象家屋は母屋のみであったが、「空き家及び同一敷地内に付属する建物」と改めると共に、「空き家の再利用、又は環境整備」のため、助成金の額、現在50万円を100万円に増額するもの。

問 五十嵐 敏夫 議員  
条例改正後の空き家解体に対する、年間の総予算はどのくらいか。また、農機具小屋等の解体助成は。

答 農林建設課長  
年間3件で300万円を想定している。あくまで母屋に付随するもので、小屋等のみの解体は対象外である。



◆仙南地域広域行政事務組合規約の変更  
【内容】

共同処理事務とするAZ9ジュニア・アクターズ養成事業に係る経費の支弁方法を定めるため規約の一部を改正するもの。

#### 主な歳入

繰入金	6600万円
町税	180万円
寄付金	136万円

#### 主な歳出

白石市外二町組合負担金不足見込	4770万円
パソコン処分料並びに購入費	98万円
新型コロナウイルスワクチン接種経費	97万円

### 令和4年度一般会計補正予算(第6号)

7500万円追加

問 五十嵐 敏夫 議員  
白石市外二町組合負担金は現在までの赤字補填なのか。また、来年の解散まで更なる負担金が発生するのか。

答 町長  
単年度分で不足見込みが3億円。借り入れ金精算分が6億円。合計9億円の5.3%分である。今後、職員の退職手当金等を差し引きすれば、約1億4千4百万の負担金が見込まれる。  
ただ、刈田病院の最終決算は来年9月に確定する。

問 高橋 浩之 議員

寄付金136万円の内容

答 総務課長  
コロナ関係に対するものと一般寄付金で、ふるさと納税寄付金とは別です。

◆債務負担行為補正

●ふるさと体験交流館  
管理運営業務

【期間】  
令和5年度から令和9年度

【限度額】  
6000万円

問 渡部 英幸 議員

ふるさと体験交流館（宿泊施設おたて）の利用実績と年間経費は。

答 ふるさと振興課長

令和3年度利用者は1546人で年間経費は1700万円。売り上げが1800万円なので若干プラスになっている。



▲街道 Hostel おたて

国民健康保険特別補正予算（第3号）	432万円追加
簡易水道特別会計補正予算（第2号）	150万円追加
公共下水道特別会計補正予算（第1号）	400万円減額
介護保険特別会計補正予算（第3号）	1400万円追加

問 吉田 修 議員

介護サービス給付費の補正はコロナによる影響か。

答 町民税務課長

コロナの影響でなく、居宅介護の利用実績と施設介護の利用実績に増減があったため。

令和4年 第5回臨時会

（会期：10月6日）

令和4年10月6日に開かれた臨時会では、条例の改正、請負契約の締結、一般会計補正予算について審議可決。

問 渡部 英幸 議員

この入札に対する指名業者数と応札者数及び落札率は。

答 農林建設課長

業者は6社指名にて3社が応札。落札率は94・48%。

問 高橋 茂美 議員

ライスセンターの現在の処理能力及び建設後の処理能力は。

答 農林建設課長

現在50haほどの処理能力であるが導入後は約80haの農地面積の処理が可能となる。

【提案理由】

農地集積に伴い、新たなライスセンターを建築するもの

契約の目的	令和4年度ライスセンター建築工事
契約の方法	指名競争入札
契約金額	1億3750万円
契約の相手方	宮城県仙台市青葉区中江二丁目23番20号 阿部建設株式会社

令和4年度 一般会計補正予算（第5号）

5000万円追加

【主な歳入】	
国庫補助金	1340万円
農林水産業費補助金	1474万円
地方創生交付金	986万円
【主な歳出】	
住民税非課税世帯支援金	1300万円
物価高騰支援事業（全町民に1万円の商品券支給）	1330万円
農機具自動操舵システム及び除草剤散布ドローン購入	1913万円

意見書の採択

免税軽油制度の継続を求める意見書

【提案の理由】

地域経済に計り知れない悪影響を与えることが懸念されるため、免税軽油制度の継続を求めるため提出するもの。

全員賛成で採択

特別委員会設置

議会改革検討特別委員会

【名称】	議会改革検討特別委員会
【目的】	より町民に必要とされる議会構築のため、調査研究を行うことを目的とする。
【期間】	本委員会の目的が達成するまでとする
【委員構成】	
委員長	五十嵐 敏 夫
副委員長	高橋 浩 之
委員	議員 全 員

問 五十嵐 敏夫 議員

農機具自動操舵システムの内容と作業軽減化はどのくらいか、又、どこに配置するか。

答 農林建設課長

携帯電話を利用し、GPS機能を組み合わせ自動で操作を行うもの。15%から20%の労力軽減に繋がると考える。ライスセンターの備品として装備する。

◆条例の改正

◆職員の育児休業に関する条例の一部改正

【提案の理由】

国家公務員の育児休業改正に伴い、非常勤職員の育児休業条例を改正するもの。

(会期：11月28日)

令和4年11月28日に開かれた臨時会では、条例の改正、白石市外二町組合解散の件、財産の取得について審議可決。

◆条例の改正

◆職員並びに町長等の給与条例の一部改正  
 【提案の理由】  
 人事院勧告に伴い職員並びに町長等の給与条例を改正するもの。

◆議員発議

◆議員の期末手当条例の一部改正  
 【提案の理由】  
 議会の議員の報酬の期末手当の支給月数を改正するため条例の一部を改正するもの。

◆財産の取得

【提案理由】

作業精度向上によるスマート農業推進のため、導入するもの

取得物件数 自動操舵システム 3台  
 取得目的 スマート農業の推進を図るため  
 契約金額 825万円  
 契約の相手先 宮城県黒川郡大和町まいの1丁目2-6 ヤンマーアグリジャパン(株)吉岡支店



議案の審議結果

【表の見方】 ○:賛成 ×:反対 欠:欠席 早:早退 議:議長 退:退席 除:除斥 投:投票 ※議長は採決に加わりません

会議名	議案番号	議案内容	議決月日	結果	議員名								掲載頁
					1 高橋 浩之	2 高橋 きく子	3 渡部 英幸	4 五十 嵐敏夫	5 吉田 修	6 高橋 茂美	7 今野 三喜男	8 菅原 研治	
令和4年第5回臨時会	第61号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	令和4年10月6日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	議	P7
	第62号	令和4年度ライスセンター建築工事請負契約の締結について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
	第63号	令和4年度七ヶ宿町一般会計補正予算(第5号)	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
令和4年第6回臨時会	第64号	町長等の諸給与条例の一部改正について	令和4年11月28日	原案可決	○	○	○	○	○	○	欠	議	P8
	第65号	職員の給与に関する条例の一部改正について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	欠	議	〃
	第66号	白石市外二町組合の解散について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	欠	議	〃
	第67号	白石市外二町組合の解散に伴う財産処分について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	欠	議	〃
	第68号	財産の取得について(自動操舵システム)	〃	〃	○	○	○	○	○	○	欠	議	P9
議発4号	議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	欠	議	P8	
令和4年第4回定例会	第69号	監査委員の選任について	令和4年12月7日	同意	投	投	投	投	投	投	投	議	P4
	第70号	副町長の選任について	〃	〃	投	投	投	投	投	投	投	議	〃
	第71号	七ヶ宿町過疎地域の持続的発展の支援に係る固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について	令和4年12月9日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
	第72号	七ヶ宿町住みたい住宅応援条例の一部改正について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	議	P5
	第73号	仙南地域広域行政事務組合規約の変更について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
	第74号	令和4年度七ヶ宿町一般会計補正予算(第6号)	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
	第75号	令和4年度七ヶ宿町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	議	P6
	第76号	令和4年度七ヶ宿町簡易水道特別会計補正予算(第2号)	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
	第77号	令和4年度七ヶ宿町公共下水道特別会計補正予算(第1号)	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
	第78号	令和4年度七ヶ宿町介護保険特別会計補正予算(第3号)	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	議	〃

白石市外二町組合の解散について  
 白石市外二町組合の解散に伴う財産処分について

【提案の理由】

現在の公立刈田総合病院が令和5年4月1日より、指定管理者制度に移行することに伴い、白石市外二町組合を解散すると共に、その財産等の処分方法を白石市と協議のうえ譲渡するもの。

問 五十嵐 敏夫 議員  
 刈田総合病院は町民の健康を守るため不可欠な病院であるが、今後町民の受診体制はどのようなになるのか。病院で働いている看護師を始めとした職員は、分限解雇になるが、その救済策は。

答 町長  
 来年4月1日より(仮称)白石市立病院になるが、今までと変わらず安心して引き続き受診できることを確認している。  
 現在の職員は確実に再雇用していただけることを正副管理者会議の中で事業者に要請している。  
 また、病院内に再雇用窓口の設置をし、職員が個別に相談できるような要望をしている。

※分限解雇  
 地方公務員法により公務員の身分は保障されているが、例外として、本人の意に反して免職することが認められている。

問 吉田 修 議員  
 4月から刈田総合病院が民営化することにより、医療体制と町診療所との連携はどうなるのか。

答 町長  
 刈田総合病院が民営化になっても大きく診療科が変わることはない。逆に、救急医療や周産期医療、午後の診療も行うとのことなので安心して受診できる。  
 病院の連携は今まで通り近隣市町の病院も含め継続して進める。



▲公立刈田総合病院

## 所管事務調査の報告

### 総務文教常任委員会

#### 「スクールバス運行状況と安全点検状況について」

去る11月8日教育委員会から奈良教育次長・大滝主事出席のもと「スクールバス運行状況と安全点検状況」について所管事務調査を行いました。

昨年と今年に渡り、通園バスでの置き去り死亡事件が発生し、重大な社会問題となっています。七ヶ宿町の子供達もスクールバスにより園児や児童が通園・通学を行っているため委員からは、運行状況や安全対策について様々な内容について意見が出ました。

登下校時の人員確認状況について、教育委員会がスクールバスの運行を委託している事業者（有）七ヶ宿観光タクシーで確認を行ったところ、乗車数と降車数の確認は確実にしているとともに、点検簿はないが、業務終了後には車内の点検を徹底しているとのことでありました。又、これまでに置き去り事件及びこれに類似した事案も発生していませんとのことでした。

もしも置き去りにされた時の、対処方法の指導については、今後検討するとのことでした。

国では、来年4月に置き去り防止安全装置を義務化することであるが、当町のバスへの装置の取り付けも早急に検討すべきことを提言するとともに、子供たちの安全確保に万全を期することを望み所管事務調査の報告と致します。

総務文教常任委員会  
委員長 五十嵐 敏 夫



▲町のスクールバス



▲所管事務調査会議

### 問

3期目の町政運営での優先課題は

### 答

「小さくても持続可能な町」を目指す

「第6次七ヶ宿町長期総合計画」、「七ヶ宿町ふるさと創生総合計画」を策

定し様々な事業に取り組んでいるが、町政3期目の取り組みとしてどの事業を最優先課題としているか。

答 第一次産業の活性化、

町民の暮らしを守る安全安心対策、教育の充実、若者定住と雇用の拡大、都市との交流をスピード感を持って取り組み町民が元気で「小さくても持続可能な町」を目指す。

くても持続可能な町」を目指して参ります。

問 5つの事業を総合的に判断しながら行うと

言うことだが、来年度予算にどの事業を目玉に挙げるのか。

答 第一次産業の活性化に

ついては主に森林環境譲与税を活用した森林の整備、有害鳥獣処理施設のスムーズな運用、全般的な担い手の確保。

町民の暮らしを守る安全安心対策として、刈田総合病院が白石市が運営していくことに対して町民の健康と命を守る方策を講じます。町営バスの運行については、運行方法を検討する。教育の充実については、保



高橋 茂美 議員



▲ベガルタハウス

育所の新築が最大の事業になります。保育士の増員、土曜保育の充実も行います。若者定住と雇用の拡大については、若者定住住宅の建設、第3セクターの統合に着手します。指定管理者制度の見直しも検討する。

都市との交流については、ベガルタ仙台と提携しSDGsの推進するとともに、町外の企業、団体と連携し、活用して行けるか検討する。



▲道の駅（加工施設）

問 第6次産業の推進、道の駅にある加工施設の活用は？

答 個々に取り組んでいる方々の相談に応じるとともに、外部の方々の意見を聞きながらしっかり検討する。



吉田 修 議員

**問** 防災無線が設置されていない家庭もあるが、町内の設置率は。

**答** 622世帯中604世帯が設置済みで、設置率は97・1%となっている。

**問** 全家庭設置されていない要因は。

**答** 未設置世帯は主にアパート世帯で、設置する際に、壁などに加工が必要になる時もある。防災無

線の設置は、基本的には自主申請となっている。



▲防災無線の写真

**問** 移住者が増加している中で地元の人との接点が少ない。交流を深める為、防災無線を活用できないか。

**答** 防災行政無線は、緊急時に自動で情報が住民に伝達される仕組みになっている。町からのお知らせなどは電波法の制約の中で運用している。個人的な運用は認められていない。

**問** 全家庭に防災無線必要ではないか

**答** 広報などで設置周知を促進したい

**問** 空き家解体助成金制度拡大は

**答** 解体条例を改定し現行の倍にする

**問** 美しい七ヶ宿町の景観を損ねる空き家、特に廃屋化した住宅が目につくが、建物解体のための費用が高騰していることに鑑み、助成金条例の改定を行い、現在1/2上限50万円の増額を検討すべきでないか。

**答** 解体費用価格の上昇と解体促進を図るため、条例を改正して、補助上限枠を50万円から100万円に引き上げたい。



五十嵐 敏夫 議員

**問** 宅地内の母屋に付随する老朽化した小屋等の解体助成金制度の新設は。

**答** 現行の解体制度では、居宅を対象としていたが、付随する倉庫など同一敷地内の建物も助成の対象とする。

**問** 管理状況があまりにずさんな空き家、廃屋化した住宅を法律に規定された「特定空き家」に認定する考えは。

**答** 個人の財産である空き家の管理は、所有者が自ら行うことが原則である。所有者への現状報告や解体等の働きかけ、解体費用の補助金拡充が問題解決につながって欲しい。なお、「特定空き家」の認定についても検討する。

**問** 公共トイレぴかぴか事業とは

**答** 交流拡大に向けた整備事業の一つ

**問** 公共トイレぴかぴか事業とは

**答** ふるさと総合戦略の拠点整備事業の一つで洋式化と維持管理で交流人口の拡大に向けた利用しやすいトイレを目指している。

**問** 観光地で配慮しなければならぬのはきれいなトイレだと思う。たまたま小便器の黄ばみがひどい所があったが点検はどの様になっているのか。

**答** 自治会や関連事業者に、定期的な点検と清掃を委託している。不具合があれば現場確認をして必要な対応をしている。



▲観光トイレの写真

**問** 12月から3月まで観光地トイレが閉鎖される為、尿石が落ちないのでと考えるが。

**答** 今後とも適正な維持管理に努め、利用しやすいトイレになるよう努めていきたい。



▲町内の空き家

**問** 現行の家財道具処分助成金は15万円であるが、とてもこの金額では足りないのでは増額ができないか。

**答** 基本的に家財の処分で大抵のものは、仏壇と神棚を想定しているため、この金額が妥当とする。

**問** 老朽化した町有施設である町民プールは、何ら具体的な対応がされていない。今後の活用計画は。

**答** 町民プールは建設後50年が経過し、施設が広範囲に劣化していることから廃止するが、施設の解体の時期については跡地利用の計画にあわせて処理を進める。



▲現在の町民プール

**問** 老朽化した町民プールの活用は

**答** 廃止し、跡地利用計画後解体する



高橋 きく子 議員

**問** 「旧道の駅」施設は国道113号線沿いであり、非常に不安視されている。施設の定期的な点検等は実施しているのか。

**答** 「旧道の駅」施設の定期的点検等は行っていないが、駐車場の清掃や除草作業を委託する中で目視による確認を行っている。

第一期小関町政とほぼ同時に始まった「地方創生」制度への対応と、町政の大きな柱として賑わい拠点の整備や担い手住宅等、建物に特化した政策が進められて来た。一方では今日においても「旧道の駅」施設の対応が示されていない。このことから以下の点について伺う。



▲七ヶ宿ダム

**問** 「旧道の駅」への対応について

**答** 保存か解体かできるだけ早く決定する

**問** 施設の再利用案が示された時期もあったが、その後どのような状況となっているのか。

**答** 今までに再利用案を議会及び町民の皆さんに具体的に示したことはありませんので、その後の状況には答えられません。

**問** 町内には空き家が増え、各集落においても問題となっているが、「旧道の駅」施設の解体処理も含めた計画を示すべきではないか、または、ネット社会の環境とコロナ禍等への対応から環境的に再利用を図ることも考えるべきでは。

**答** 今まで「旧道の駅」施設は解体するのではなく、何らかの活用ができないか関係各方面に働きかけを行ってきたが、その後の展開に至っていない現状にあるので、できるだけ早いうちに保存か解体かについて方針を決定したい。



▲旧道の駅

**問** 町内の自然を生かした観光産業の振興策は  
**答** 看板点検やボランティア案内など検討したい

**問** 玉の木原の水芭蕉群生地や横川のやまびこ吊橋など、町内の自然を活かした観光エリアに設置してある看板は機能していないのではないか。

**答** 観光案内の看板はそれぞれの観光エリアのイメージを考慮して設置しているが、老朽化した看板などを含め総点検し一目で観光地と分かる看板の設置を検討したい。

**問** 町内の観光スポットに精通した総合的な観光案内のできる人材を複数育成し、多くの来町者に喜んでもらえる体制づくりをするべきではないか。

**答** 町のイメージキャラクターのゆり太郎が主にガイド役をしているが、今後外部委託やボランティアによる観光案内も考えたい。



▲水芭蕉駐車場看板



▲見ごろの水芭蕉

**問** 水芭蕉群生地において花が見ごろの頃は駐車場で、車両の接触事故や場内の忘れ物、トイレの管理不足が起きている。行政による対策が必要ではないか。

**答** 水芭蕉群生地に設置している駐車場やトイレの管理は、湯原自治会に委託しているのしっかりと確認し対応したい。

**問** 以前スキー場に七ヶ宿ダム湖の看板があり、多くの来町者に水源の町としての役割がしっかりとアピールされていた。  
町内の観光エリアに同様の看板を設置するべきではないか。

**答** 以前、スキー場に設置されていた看板は、国(当時の建設省・現在の国土交通省)がしたのか町が独自に設置したのか確認しないと分からない。

**問** 水源の町として、森林整備や遊休農地の管理など積極的な環境整備による町のイメージを図る必要があるのではないか。

**答** 景観を損ねる遊休農地などもあるが個人の所有地なので町が勝手に整備できない。  
現在、各地区に農地管理している集落協定があるので協議したい。



高橋 浩之 議員





湯原地区 佐藤 克幸 さん  
さとう かつゆき

地域おこし協力隊として移住して十年を迎えます。国の政策を利用して来ましたが、当時は始めたばかりの事業でしたので手探りする状態でした。結果として、いろいろな方と面識やつながりを持ってた事はよかったのですが、反面、お金のからまない労働力として利用されたのも事実です。その中で、過疎や田舎の人たちの共通しているとこは、人の意見を聞けない、話を切るといった振る舞いが見られることで

す。七ヶ宿の明るい将来を考えるならば、色々な意見を聞ける人達がいて、それをくみ取る豊かな人間関係が重要になると思います。

私は常に、七ヶ宿のことを考え行動を起こしてきました。地域の困っているサポーターとして生きています。頼まれていないからやるだけで、目立ちたいからとかの自己顕示欲ではありません。やる人がいないだけの話です。地域おこし協力隊であった時の活動を務める事だけです。議員の知り合いも増えたことですし、今後の町の政策を楽しみにしています。

## 3月定例会のお知らせ

令和5年3月7日から20日までの日程で、令和5年第1回定例会を開催予定です。多くの方々の傍聴をお待ちしております。

なお、詳細な日程は2月末に決定する予定ですので、詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

## 編集後記

今シーズンのスキー場はオープンと共に雪に恵まれ好調なスタートとなりました。四季折々の季節の移り変わりが鮮明に映える七ヶ宿町ですが、真冬の除雪には大変に苦労します。

しかし、その先に必ずやって来る春の息吹を信じて頑張る毎日です。

今年は兎年でありますので、コロナや物価高騰をピョンピョンと乗り越え暮らしやすい世の中を待ち望んでいます。

町民の皆様が、毎日を健康に過ごせ、幸多い年であるよう願うものであります。

(五十嵐)

### 議会広報特別委員会

委員長	吉田 修
副委員長	高橋 浩之
委員	五十嵐 敏夫
委員	高橋 きく子

議会だよりにご意見をお寄せください。広報特別委員会では、より良い議会だよりを目指しております。お気軽にご意見・ご要望をお聞かせ下さい。

▷ 連絡先 七ヶ宿町議会事務局 ☎ 37-2197 FAX 37-2198

12月定例会の傍聴者は、2名でした。